



自閉症の理解と支援

現場支援におけるアセスメント

自閉症 e サービス全国ネット 中山清司

お願い

<https://jiheishou-e.com/>

- 講演の内容について、SNS等で取り上げることは、匿名であっても固くお断りします
- ・ 個人情報保護に抵触する可能性があります
- ・ 発言の一部を切り取られ誤解を招くおそれがあります
- ・ SNS等でのコメントが不特定多数に拡散してしまうため
- ・ ご意見・ご質問は、直接講師にお願いします

全国ネット
自閉症 e サービス

友だち募集中 




自閉症 e サービス全国ネット LINE友だち登録
<https://lin.ee/fkmAx4B>

全国プログラムや各地域のローカルプログラムの案内や活動を定期的にお知らせします！

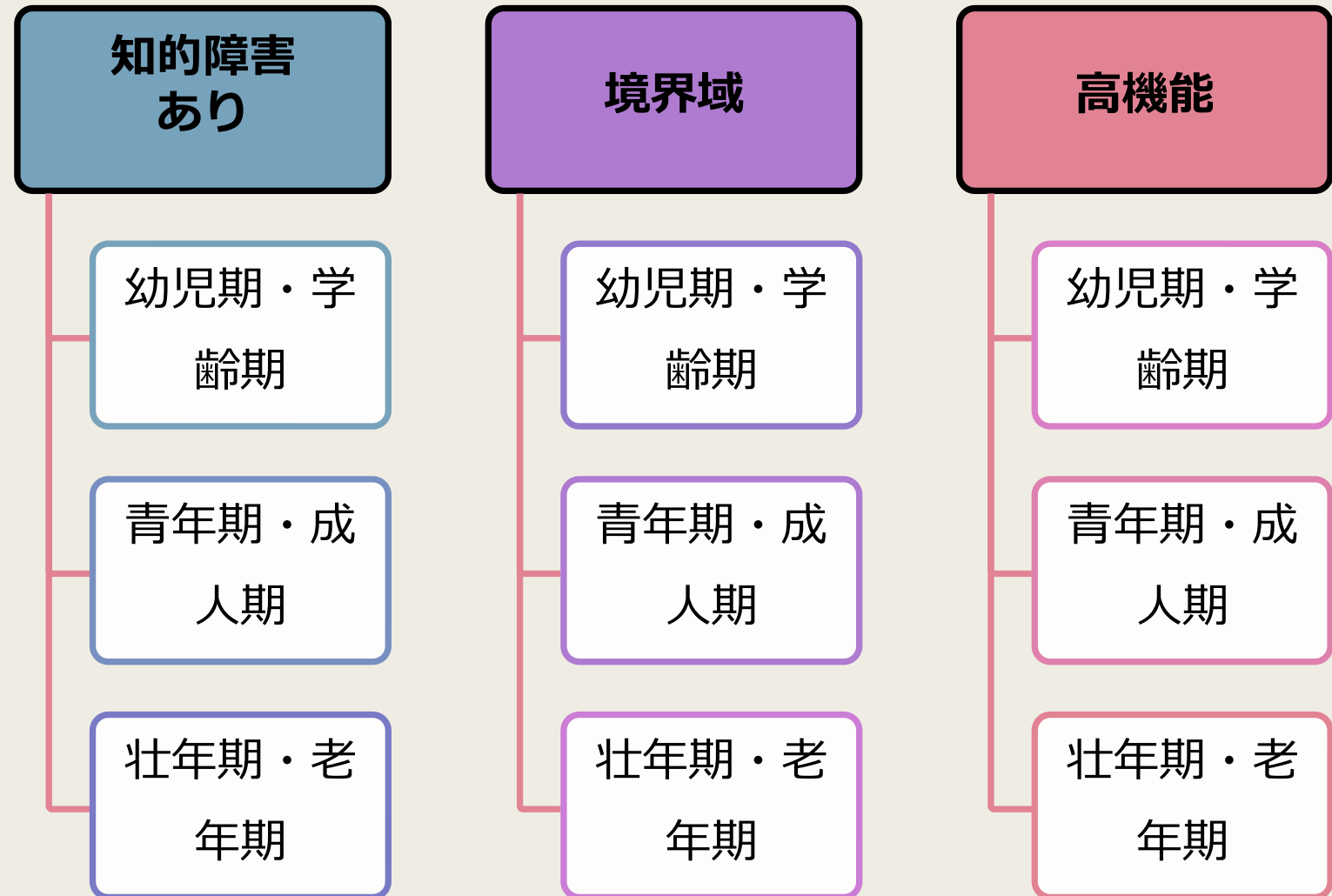


Facebookもやっています！



自閉症 e サービス全国ネット事務局（谷町オフィス）
〒542-0062 大阪市中央区上本町西3-3-28
e-mail : e.service.jimukyoku@gmail.com
HP : <http://www.jiheishou-e.com/>

自閉症支援のフィールド



何が問題か？

自閉症の理解

- 誤った理解、過度（無理）な要求
- 行動障害や不登校の問題を誘発

支援方法の確立

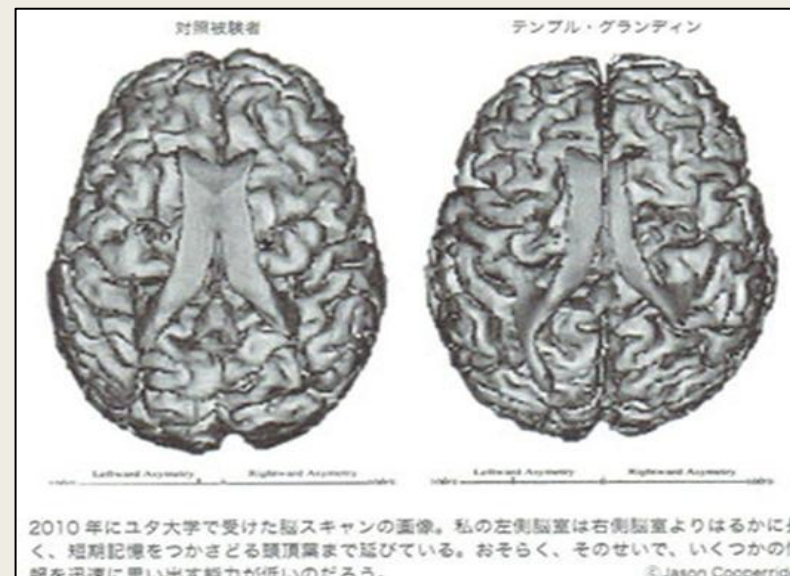
- 標準的な支援 vs 場当たりの対応
- 適切な理解と支援のもと、豊かな生活を実現する

支援者の開拓・育成

- 身近な支援者・理解者の存在
- 効果の薄いこれまでの育成システム

違いを理解すること

■ 脳の構造・機能が違う



TED『テンプル・グランディン：世界はあらゆる頭脳を必要としている』(2010.2)

自閉症の学習スタイル

TEACCH® Autism Program

- その人の学習スタイルに沿って教える
- 行動の背景に学習スタイルが関係している

<弱み>

【潜在的（暗黙的）学習】

- ・あいまいな指示・暗黙の了解がわからない
- ・失敗から学ぶことがうまくできない

【聴覚的な情報処理】

- ・話しことばに注意を向けられない
- ・話しことばを理解したり、話しことばで自分の気持ちを伝えることが苦手

【心の理論、社会的な認知が弱い】

- ・相手の気持ちや立場が理解できない
- ・全体を見渡して状況を把握することができない
- ・見通しが持てないと不安やこだわりが強くなる

【実行機能の問題】

- ・段取りよく物事をこなすことが苦手
- ・計画を立てることが難しい

<強み>

【顕在的（明示的）学習】

- ・具体的で、はっきりと示すとわかりやすい
- ・実際に経験し、適切なルーティンを形成することが得意

【視覚的な情報処理】

- ・見てわかるように伝えるとわかりやすい
- ・視覚的な手がかりを使うこと
- ・要求や拒否を行動で示すこと

【細部への焦点、注意の固着】

- ・部分に注目する
- ・1つ1つに対応することが得意

【限定的な興味】

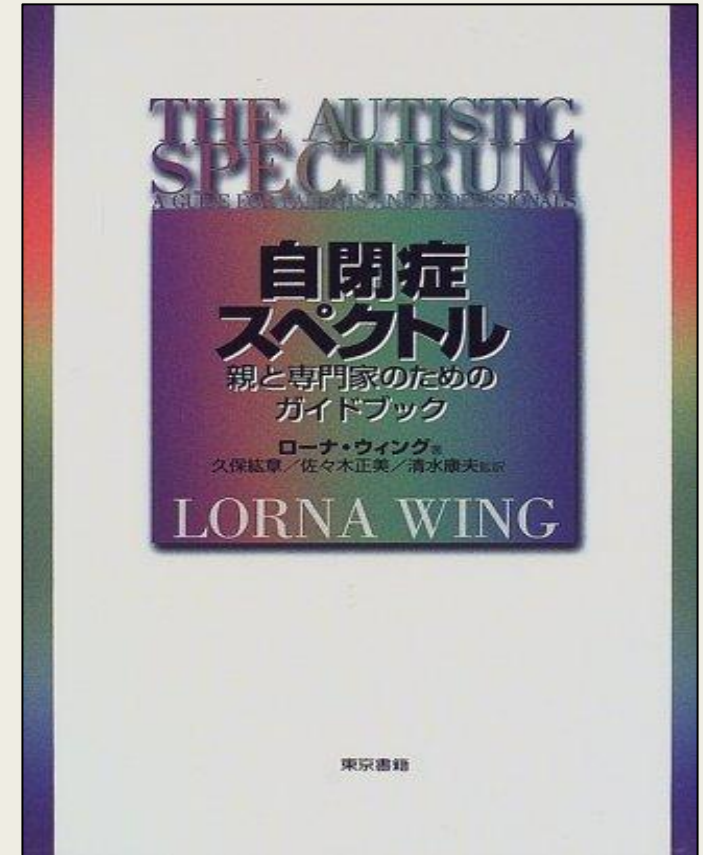
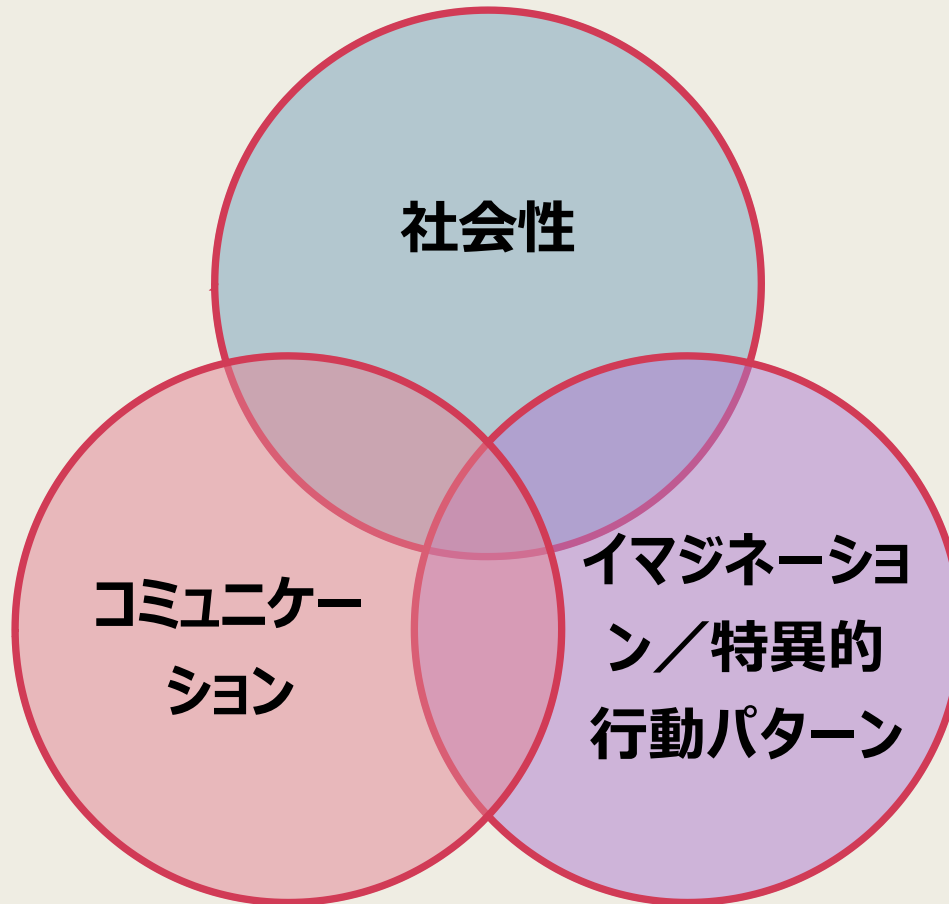
- ・好きなことを大事にする
- ・興味関心を広げていく



DVD『自閉症とともに』3巻
(東京サウンド・プロダクション)
(2019.8)

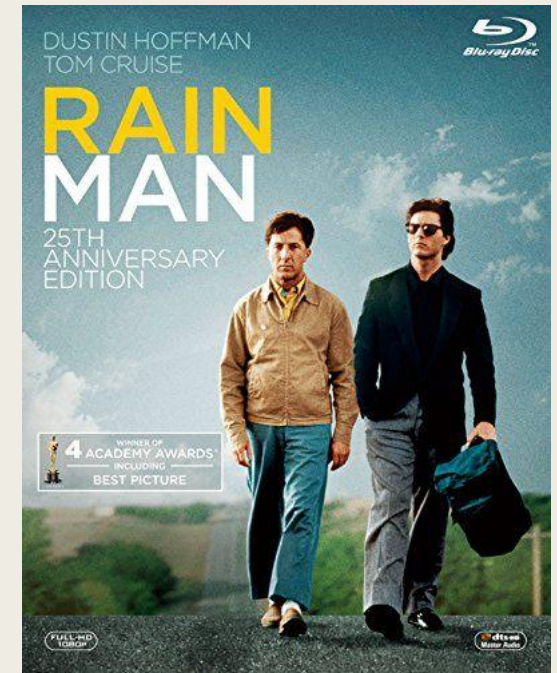
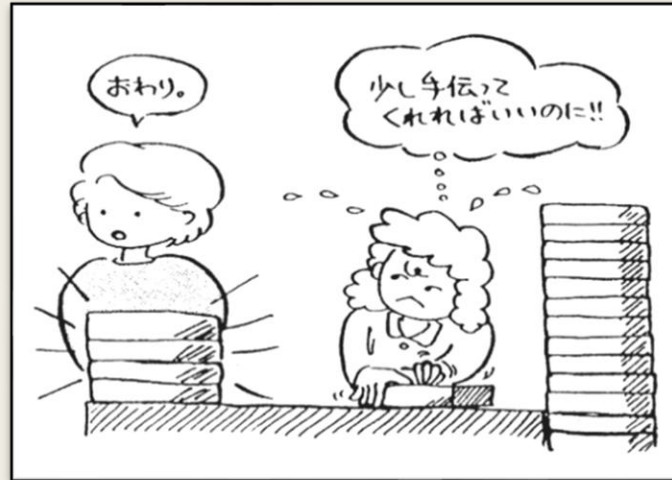
「三つ組」の行動特性

- 学習スタイル⇒行動の違い、取り組み方の違い



ローナ・ウィング『自閉症スペクトル
－親と専門家のためのガイドブック』
(1998, 東京書籍)

よくあるエピソード



映画『レインマン』(1988年)



自閉症の特性ワークシート

社会性：人との関係の取り方、人への意識の向け方、社会的な場面での振る舞い等

コミュニケーション：理解／表現／やり取りの特徴、ことば、ことば以外の方法等

イマジネーション／特異的行動パターン：行動・思考の偏り、細部、見通し、興味関心等

その他：感覚、不安、運動、発達のアンバランスさ、合併する障害等

周囲の誤った理解



周囲からの過度な（無理な）要求



氷山モデル

<https://teacch.com/wp-content/uploads/sites/553/2022/09/TEACCH-Iceberg-english-2022.7.27.pdf>

課題となる行動	期待される行動
自閉症の視点から考えられる 観察された行動の理由	期待される行動に関する、視覚的サポート、 教育の方略、必要なスキル

冰山モデル

TEACCH® Autism Program

＜悪循環の構図＞
行動障害の悪化と
虐待の危険性

・周囲からの誤った理解
・過度な（無理な）要求

制止や罰

冰山モデル

観察された行動

いわゆる「問題行動」
が引き起こされている

期待される行動

自閉症の視点から見た行動仮説

期待される行動にむけての、視覚的なサポート、
教育戦略、必要なスキルなど

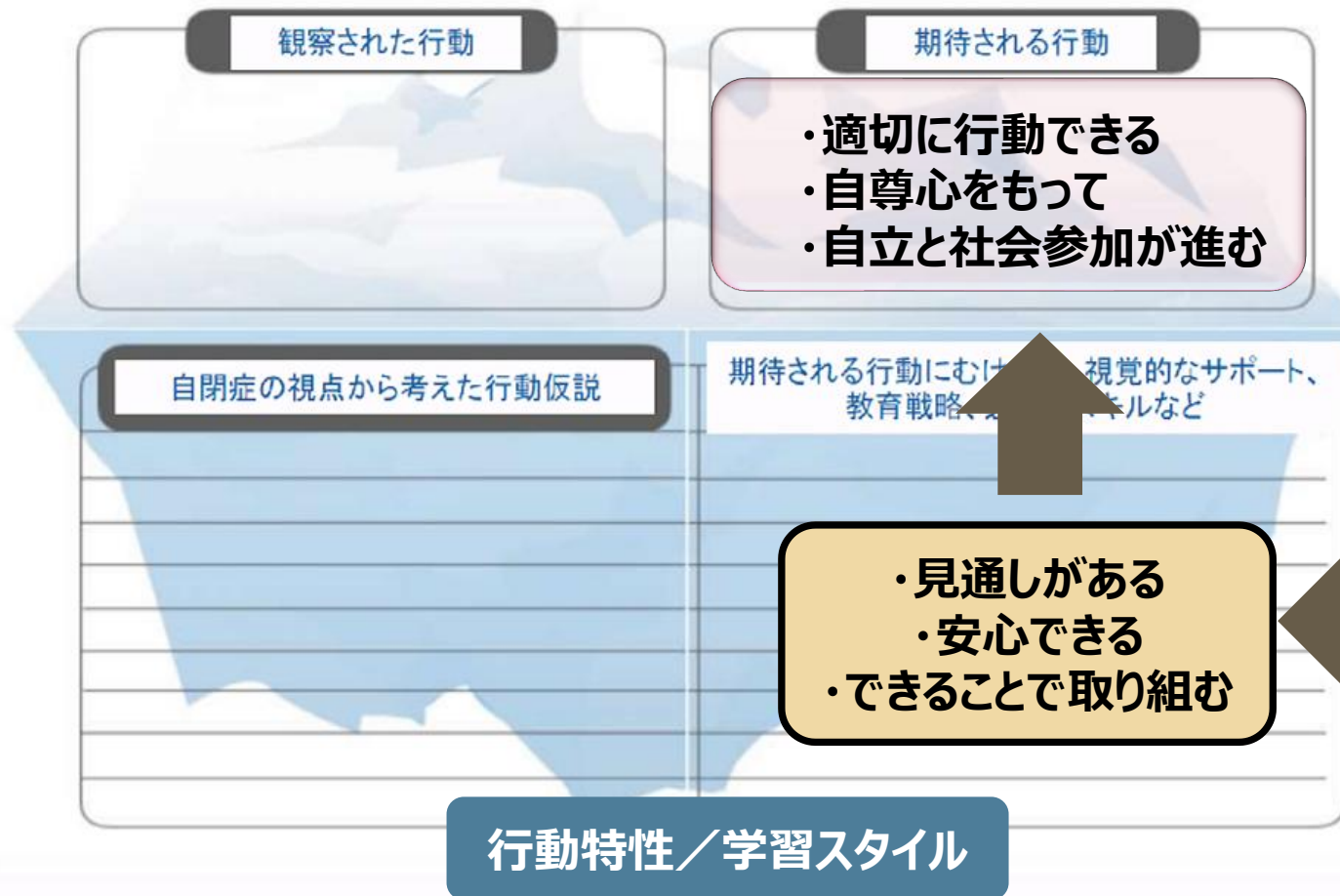
・フラストレーション
・不安、混乱

行動特性／学習スタイル

TEACCH is a registered trademark of the University of North Carolina TEACCH® Autism Program.



冰山モデル



TEACCH is a registered trademark of the University of North Carolina TEACCH® Autism Program.



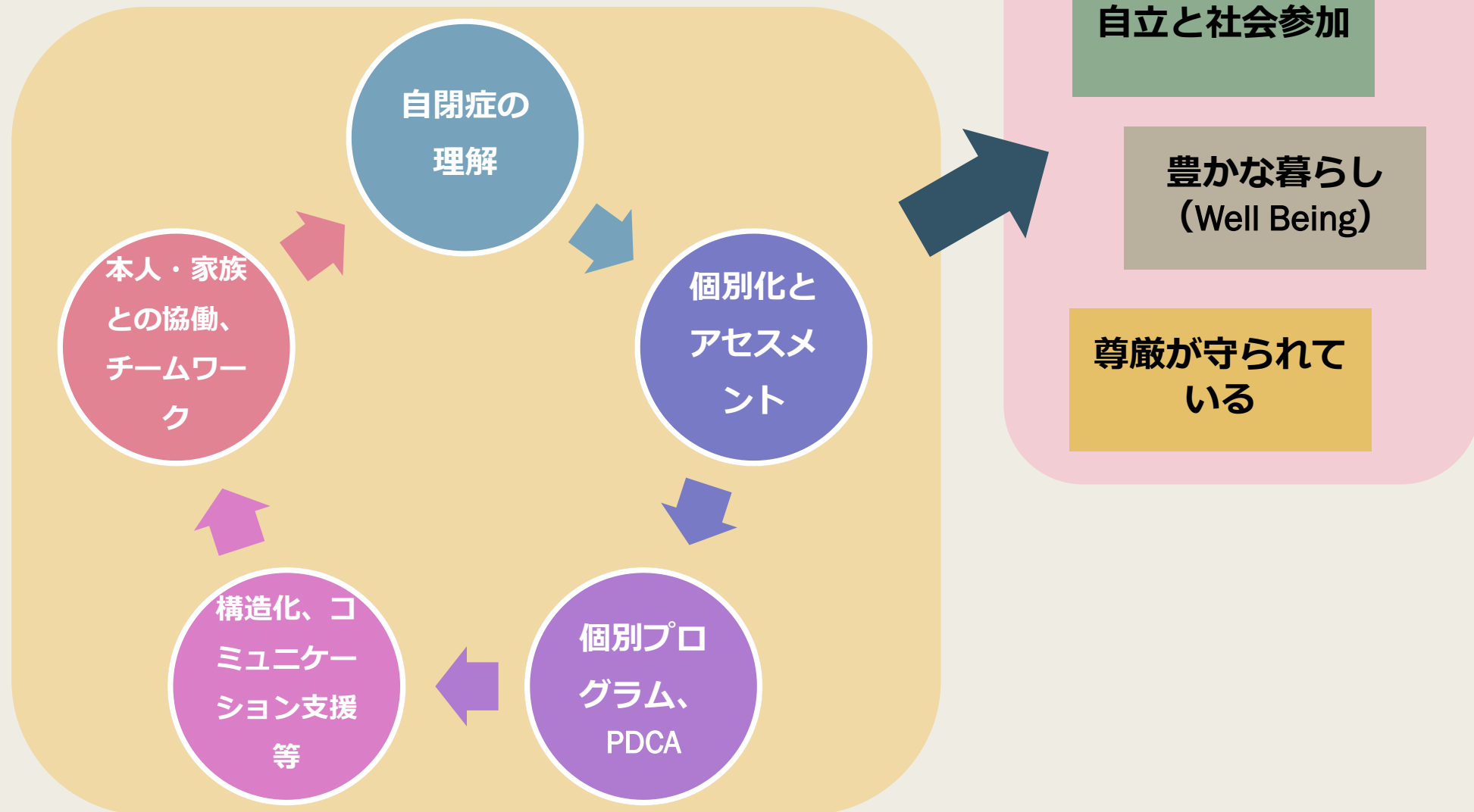
冰山モデル

TEACCH® Autism Program

自閉症の人たち
との共生、豊か
な暮らしの実現

周囲の
・正しい理解
・適切な支援
・適度な要求

標準的な支援を構成する要素





■ 現場支援におけるアセスメントの演習

お願い

(グループミーティングについて)

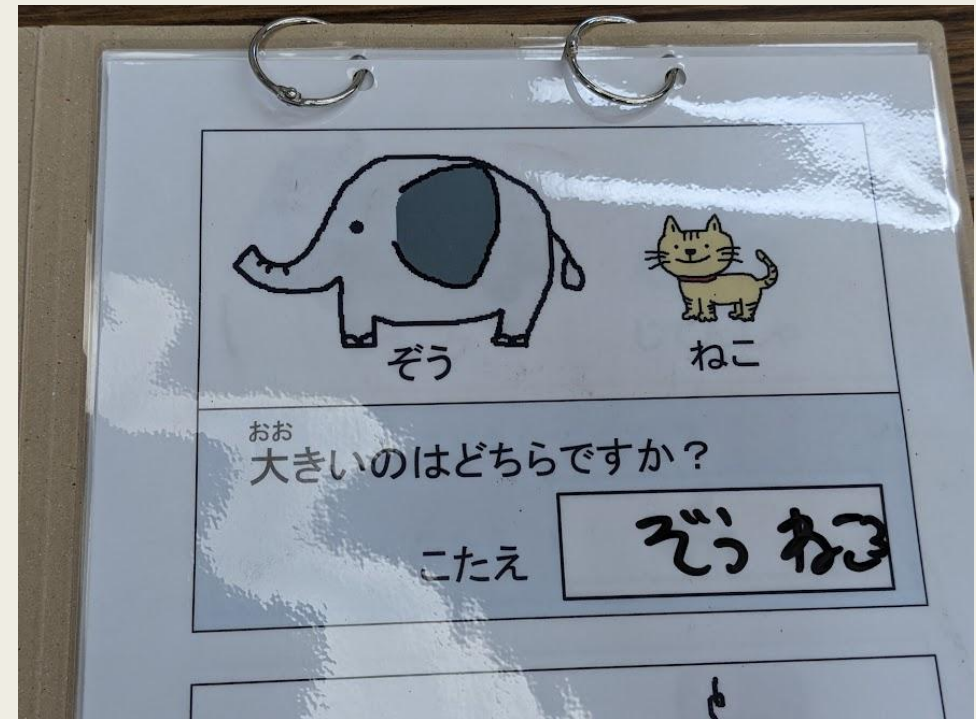
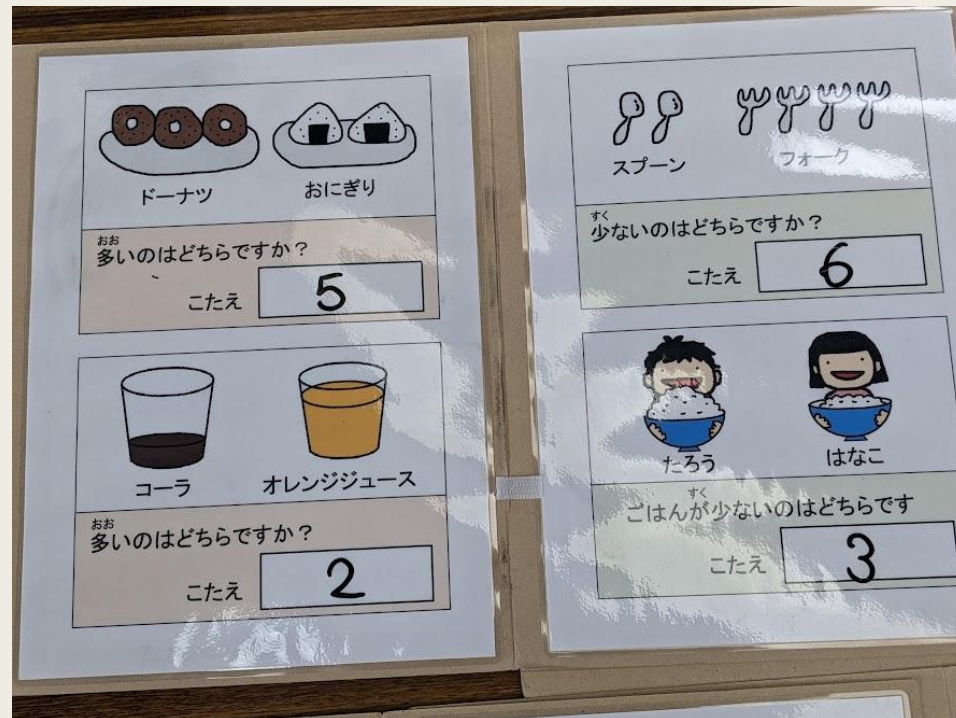
- 一人ひとりが参加できるようにお心がけください
- 皆さんで簡単に自己紹介をしてください
- 司会者と発表者を決めてください（持ち回りをお願いします）
- 全員が発言できるようにしましょう
- 傾聴と共感の姿勢を大切にしてください
- グループミーティングで話をされた内容や感想を、個人がSNS等で取り上げないようにしてください



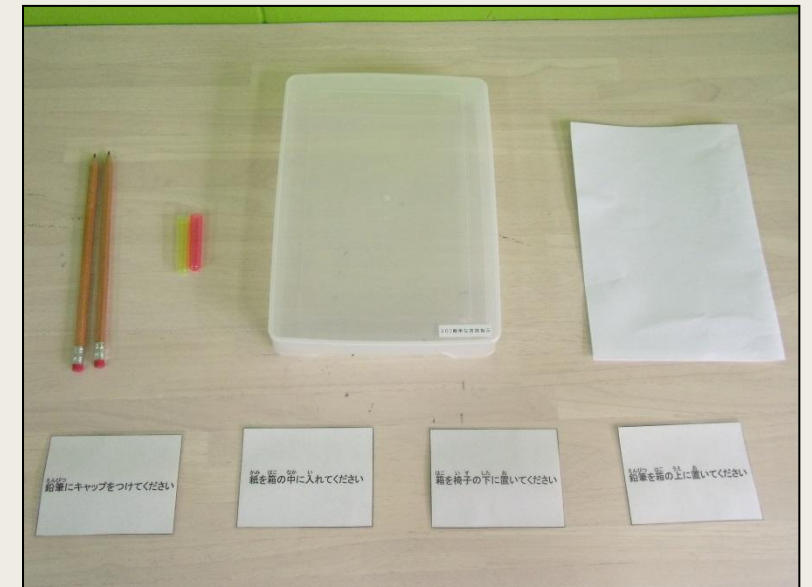
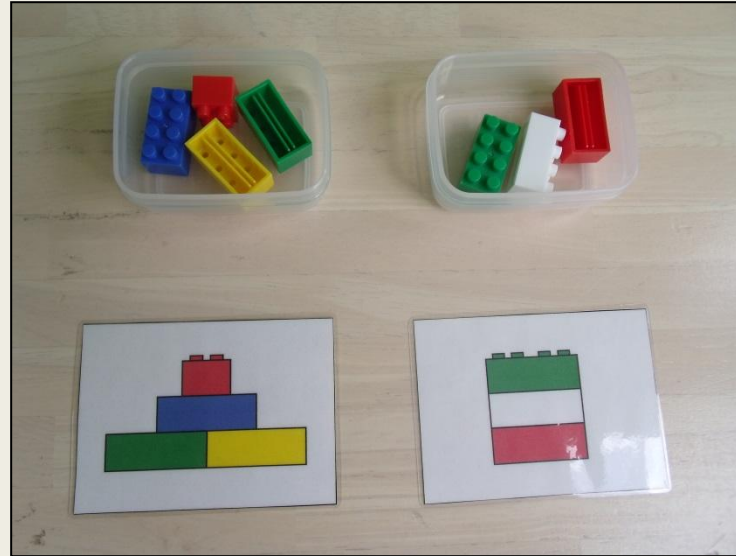
個別のアセスメント



個別のアセスメント



個別のアセスメント（評価キット）



評価セッション

全般的な観察（印象）	社会性／コミュニケーション	特異的な行動／感覚

設定した課題	評価結果		評価から考えた自立のための工夫	
	スキル	興味関心、取り組み方の特徴	課題の工夫	適切な教え方

言語理解の評価

言語指示の内容	状況の手がかりとプロンプト	本人の反応・理解の仕方
①		
②		
③		
④		
⑤		
本人にとって、最もわかりやすい伝え方・提示の仕方（支援プラン）		

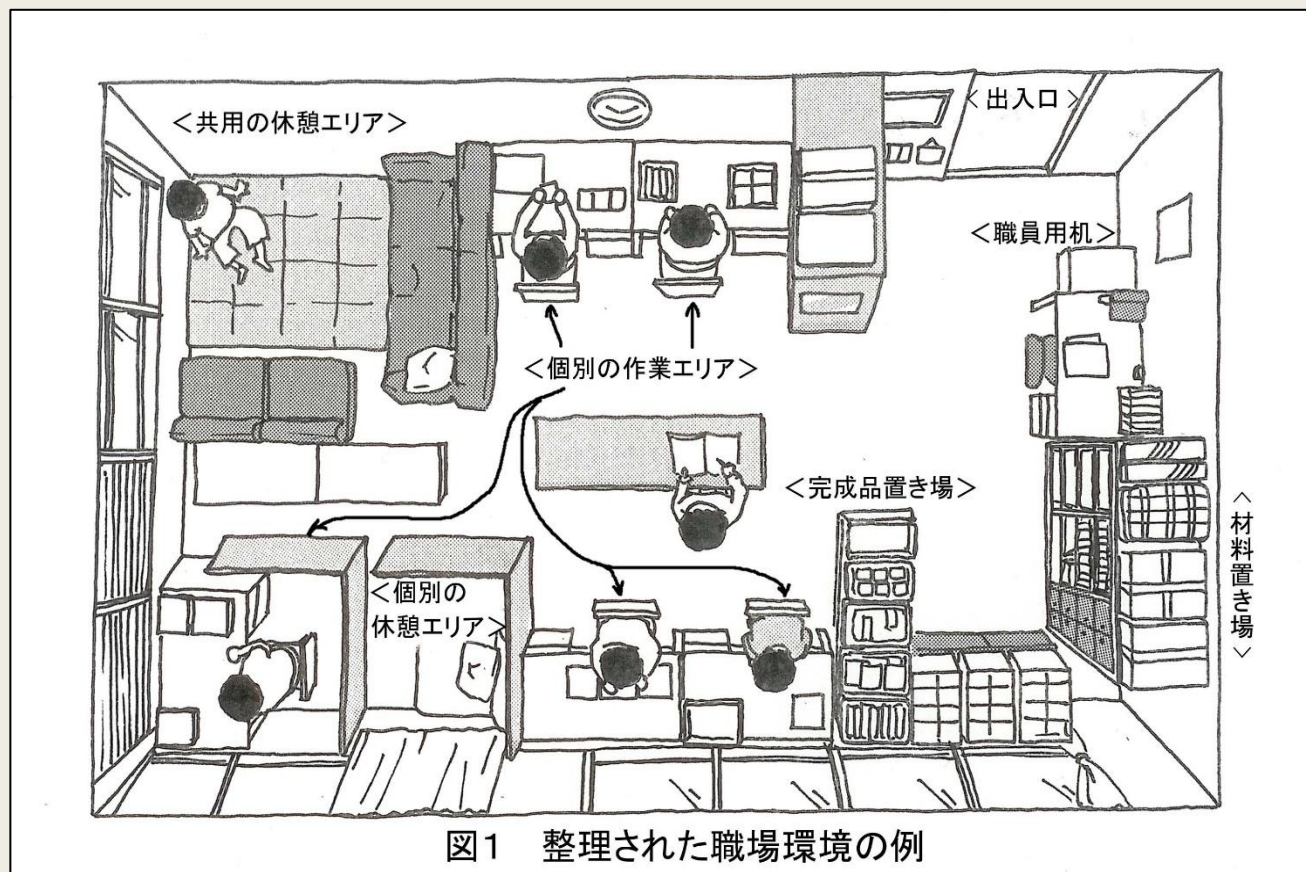
余暇の評価

領域	設定した課題	スキル	興味関心	得意・不得意	社会性の発達段階
感覚グッズ・おもちゃ					
クラフト					
卓上ゲーム					
本・雑誌・地図等					
音楽・テレビ・ビデオ					
コンピュータ系					
運動・スポーツ					
評価のまとめと選択した活動		実施場面と視覚的手がかり、教え方のプラン			

事例：運動



求められる支援① 過ごしやすい環境

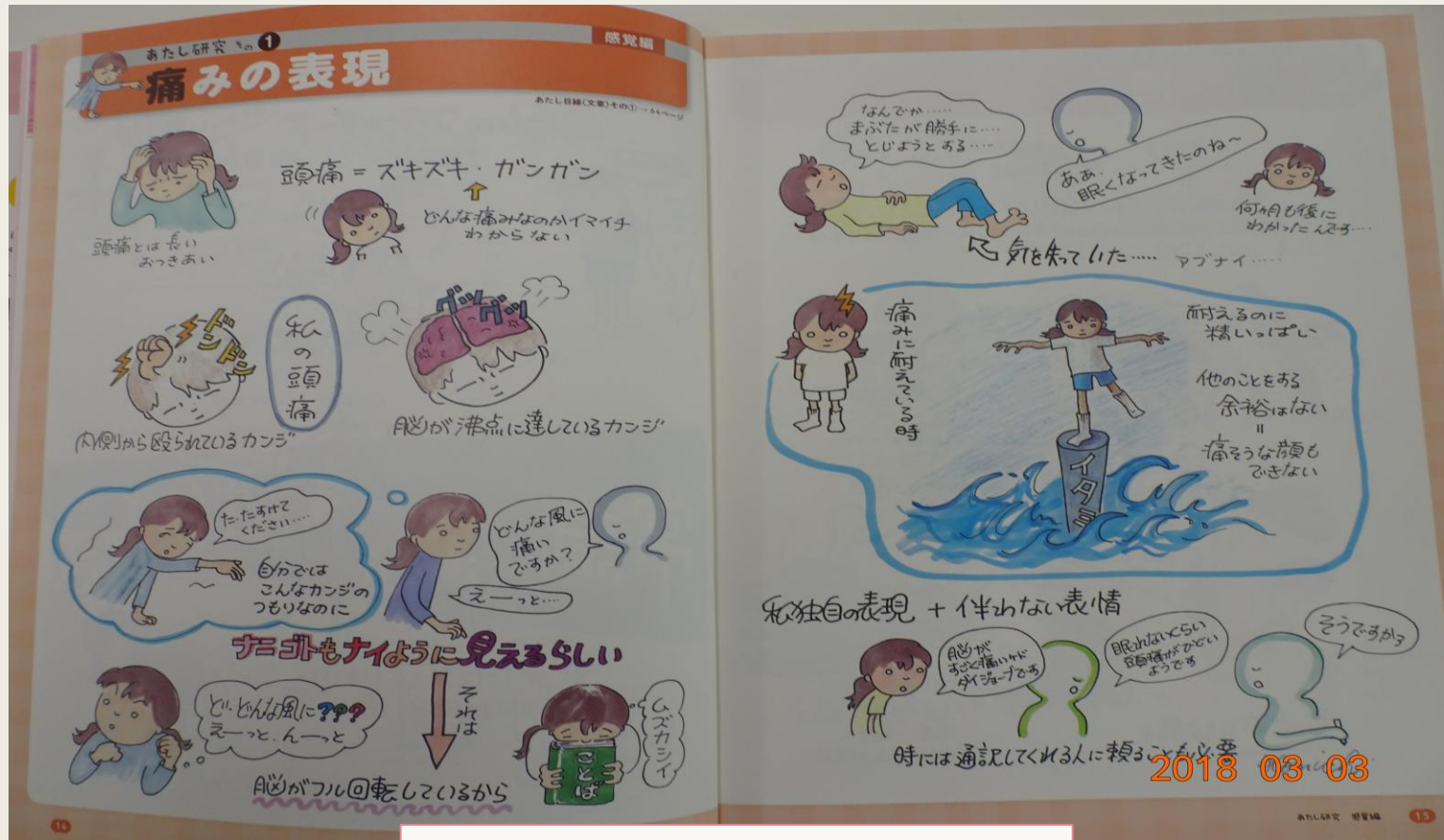


- レイアウトの見直し
- 刺激の調整、動線の整理
- それぞれの場所に意味を持たせる

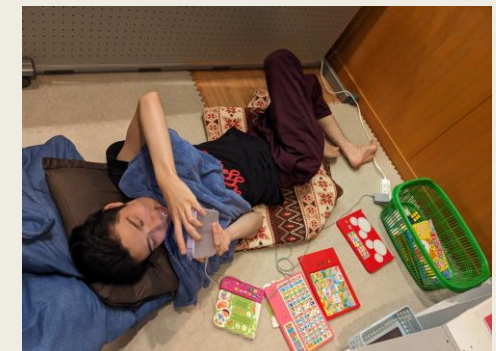


中山清司ほか著『働く自閉症者のための作業改善の工夫とアイデア』（エンパワメント研究所）より

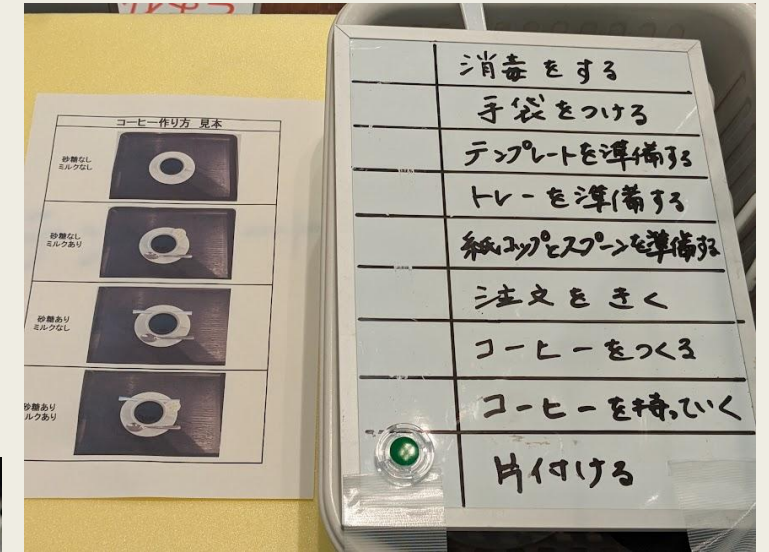
求められる支援②感覚刺激の調整



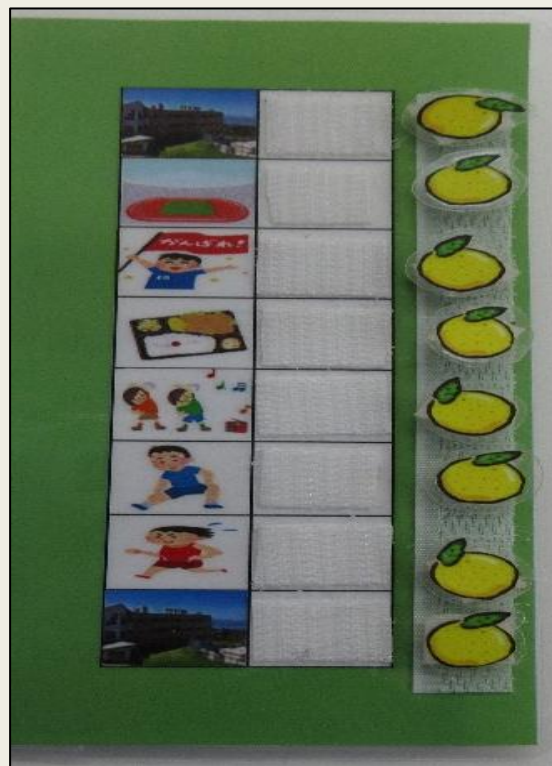
小道もこ文・絵『わたし研究 2』（クリエイツかもがわ）より



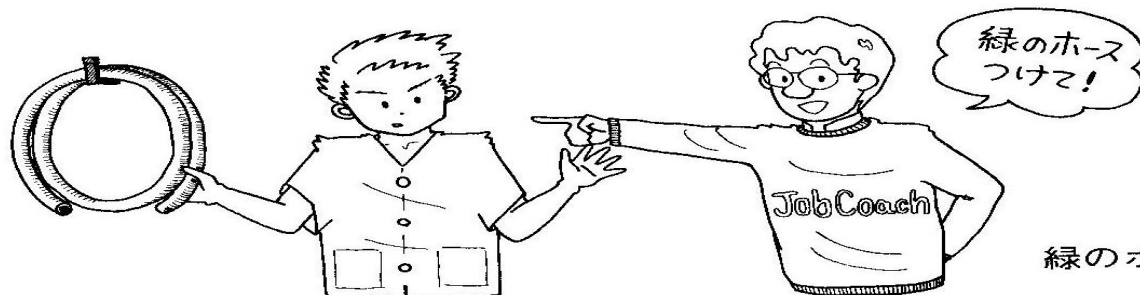
求められる支援③視覚的な手がかり



求められる支援④見通しと終りの理解



求められる支援⑤指示の工夫



緑のホースを指さす

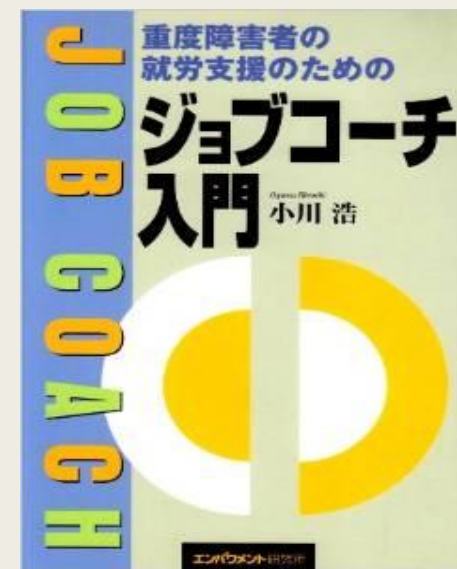


ホースを握る動作をする



蛇口に指をあてて
トントンと叩く

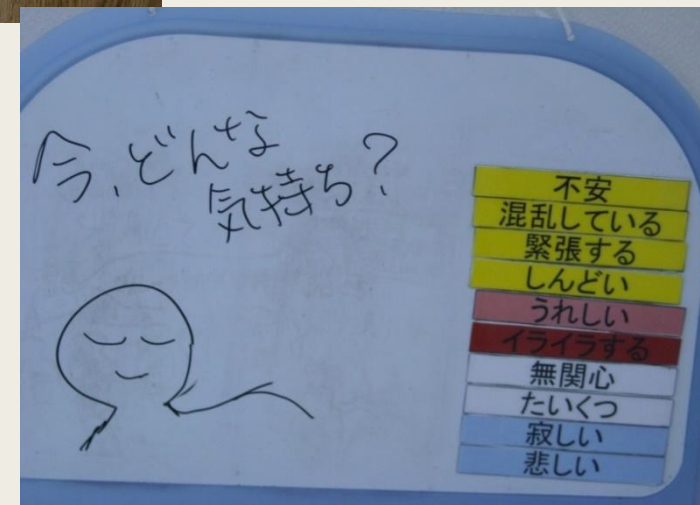
小川浩著『ジョブコーチ入門』（エンパワメント研究所）より



求められる支援⑥コミュニケーションの支援



コミュニケーションブック PECS®



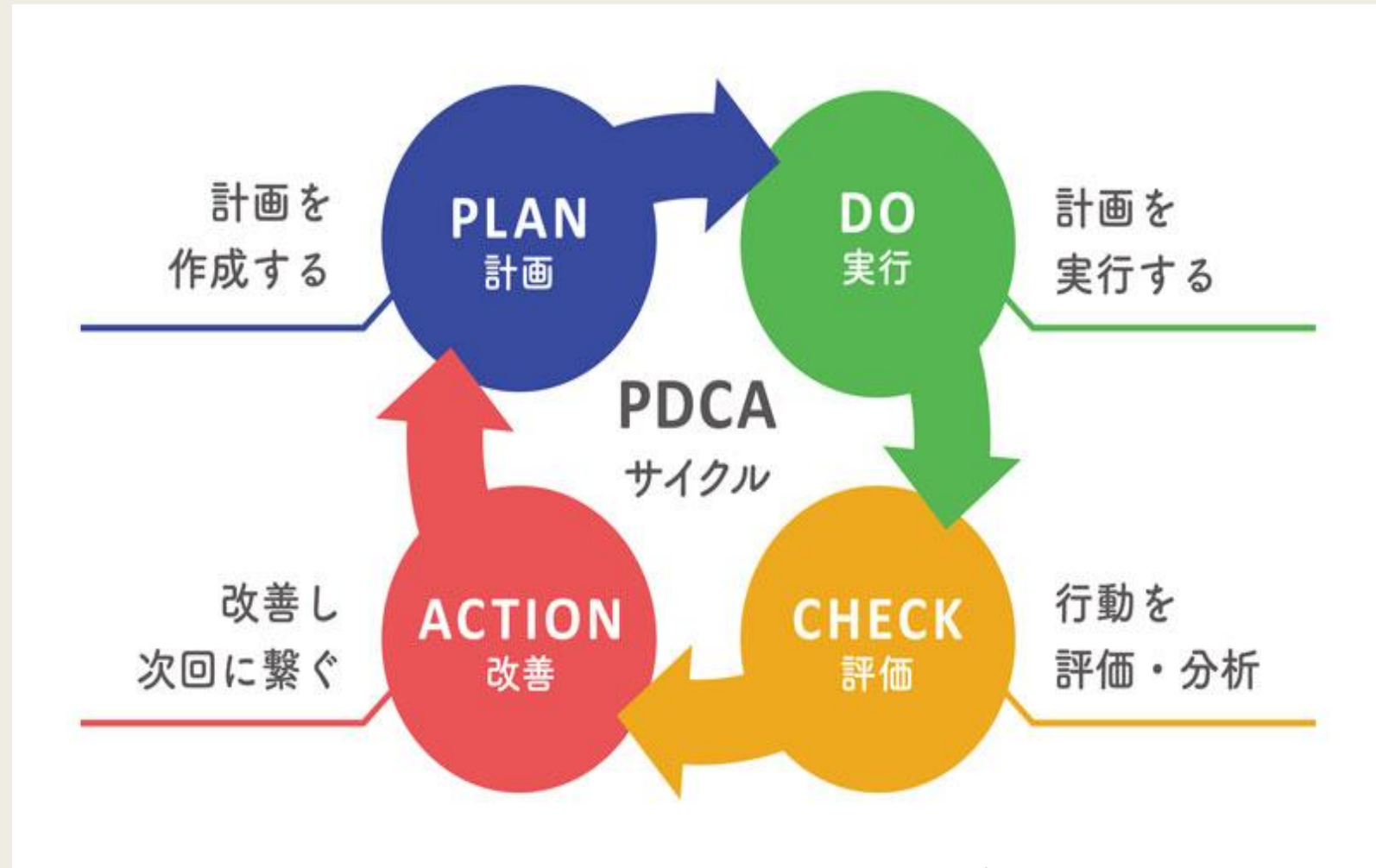
コミュニケーションサンプル

何を言ったか／何をしたか	機能					文脈		形態
	要求	拒否	注意	説明	その他	どこで	誰に	やり方
①								
②								
③								
④								
⑤								
コミュニケーションサンプルのまとめ ☐ 機能： ☐ 文脈： ☐ 形態：				実施場面、視覚的手がかり、教え方のプラン				

コミュニケーションの支援



PDCAサイクル



<https://kaizen-base.com/> より

ターゲットとなる行動への対応 (改善プラン)

支援現場/本人の概要	
ターゲットとなる行動	

物理的環境・感覚刺激
気になるもの

見通し、適度な活動

周囲の伝え方、表現手段

ポジティブ行動支援と自立のための教授

(PBS : Positive Behavior Support)

罰的・嫌悪的なやり方	ポジティブ行動支援
すべての行動上の問題に対する一般的な介入	その行動の目的に合わせた介入 周囲の人々や状況にもアプローチ
介入は行動が起きてから (reactive)	介入は行動が起きる前(proactive)
行動上の問題を減らすことに焦点があたる	その人の発達レベルに合わせた適切な新しいスキルを教えることに焦点があたる
すぐに・否定的に介入 (制止や罰)	長期的に・肯定的に介入 (本人のポジティブな行動をポジティブに支援する)

● 系統的プロンプト

- 手添え
- モデリング
- ジェスチャー
- ことばかけ

● 自立とフェードアウト

- 「期待される行動」を明確にする
- 氷山モデルからアプローチする
- 最初から正しい行動を教える
- できるようになったらフェードアウト



ポジティブ行動支援（事例）

（PBS : Positive Behavior Support）

- ゴミ箱から空き缶を拾って、シールを取る
 - 通所途上や事業所内のごみ箱をあちこちあさる
 - 作業に集中しない、他の部屋にも入っていく
 - シールを作業場の壁中にはる

↓
- （これまでは）＜罰的・嫌悪的なやり方＞
 - 「ゴミ箱の中を見ない、空き缶を拾ってこない」と何度も注意、叱る
 - 壁に貼られたシールを本人の目の前ではがす
 - 本人は余計シールを取ることに執着、スタッフの見ていないところで空き缶を拾ってくる
- ＜ポジティブ行動支援のアプローチ＞
 - 行動特性とアセスメント、氷山モデル
 - 特定のゴミ箱に本人の顔写真を貼る⇒見ていいゴミ箱を明示する
 - スケジュールでゴミ箱チェックの時間を設ける
 - シールは所定の台紙に貼る
 - 今後、ゴミ箱の整理係を担ってもらう

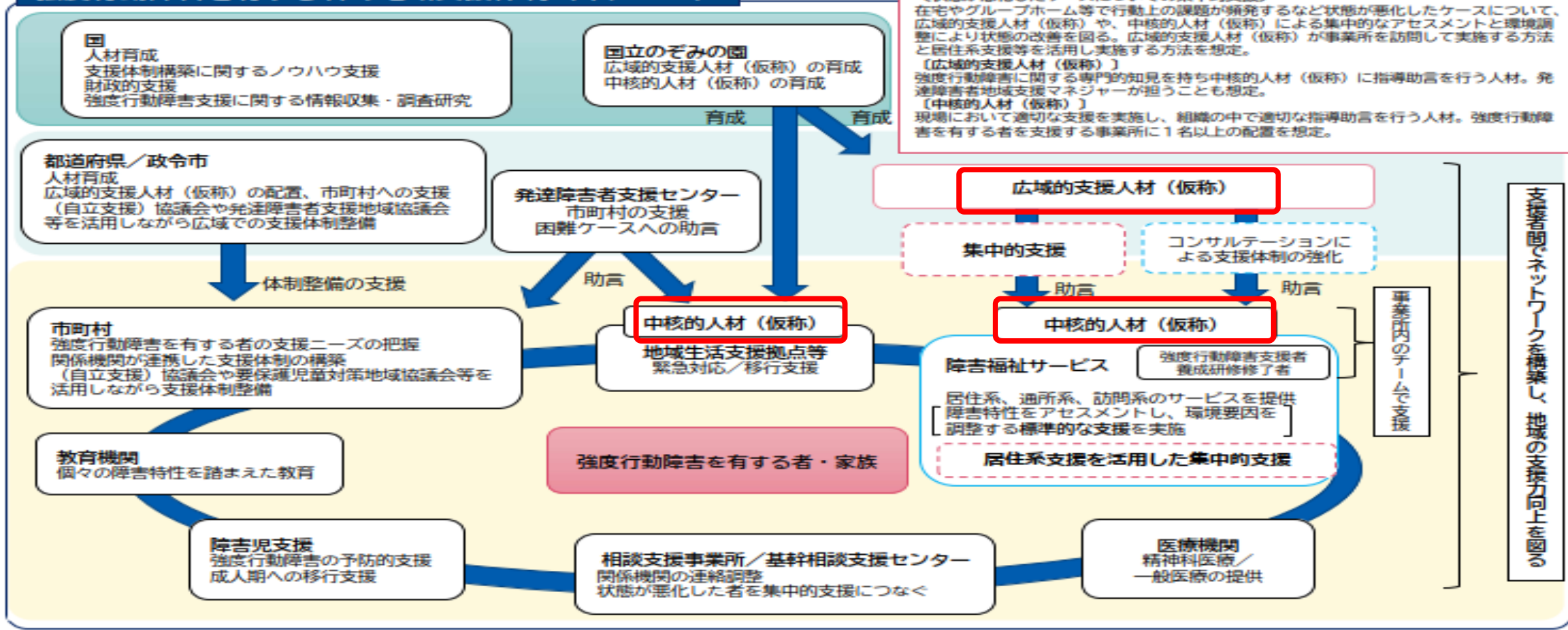


強度行動障害

強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する 検討会報告書資料（R5.3.30）

強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会報告書～概要③～

強度行動障害を有する者の地域支援体制（イメージ）





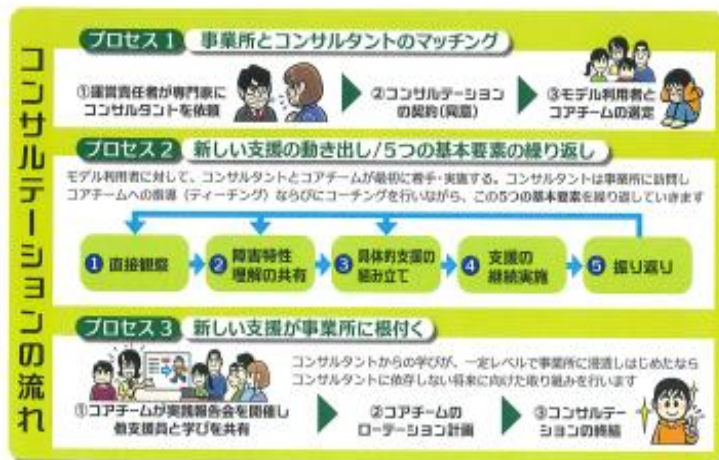
強度行動障害者支援現場でお悩みの方におすすめ ▶ 障害者支援施設 ▶ 生活介護 ▶ 共同生活援助 (グループホーム) ▶ 重度訪問介護 **コンサルテーションを活用しましょう!**

強度行動障害者支援のコンサルテーションとは?

2013年度より始まった強度行動障害者支援養成研修を全国で毎年1.5万人以上がこの研修を受講しています。しかし、残念ながら、多くの障害福祉サービス事業所では、この研修で学んだ支援方法を実践できていません。そのため専門家が事業所に訪れて支援に困っている実際の利用者の支援を通して一緒に問題解決を模索することです。

誰がどんなことを?

強度行動障害のあるモデル利用者への実践を通して、適切な支援のあり方をコアチームが継続的に学び続ける。そしてその継続的な学びを運営責任者が依頼した**コンサルタクト**が効果的に企画・実施・フォローします。



★各事業所ならびにコンサルタントの条件次第ですが、「1年間」「月1回ペースの訪問」が最低ラインです。

ケース1 加齢児の地域移行のための受け皿必要

社会福祉法人大きい空

加齢児を地域で支援できる施設を作りたい!

しかし... ほとんどが強度行動障害

決断

コンサルテーション導入

高松市福祉課の職員は2年間の準備期間スタッフと共に積極的に調査、研修会や市内内外の先駆的事業所視察した。ある遠征会で中川に出会い、コンサルテーションを依頼

4年後の現在

後述の数ヶ月間で大きな変化が現れ、多くの水車や水車遊び場が現れ、自主的な支援もできるようになりました。

決断して数ヶ月の間ではなかったが、結果的に導入効果は現れました。

そのころ、次のステップの人材育成ですね。

ケース2 公費によるコンサルテーションを活用して

NPO法人 希望

地域で行き場のない障害者を支えるため15年前に設立されたNPO法人希望は、地域生活介護と2施設の24時間体制

10年前から...

強度行動障害者の利用者が増加

増えただけで職員が疲れてから退職する支援員が急増!

しかし吉野は今までは全く違った!

コンサルテーション導入

入念な調査・調査・調査でケース検討会の後、同じメンバーで月1回の定例会議を合意

当時のスケジュール案です

メールで問題行為を報告すると即座に返信の電話

なるほどやってみます

みなさん熱心で、大変です。でも、もう一人の利用者の支援も考えようか

先はわからないけど、自分自身も少し自信が持てましたよ

より詳しく知りたい方は下記のURLから「強度行動障害者支援養成研修を現場で活かすために:コンサルテーション導入のガイド」をダウンロードしてください!



お問合わせ・資料請求は
一般社団法人 全日本自閉症支援者協会 (全自者協)

社会福祉法人 北恵彬の子会 法人本部事務局
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155

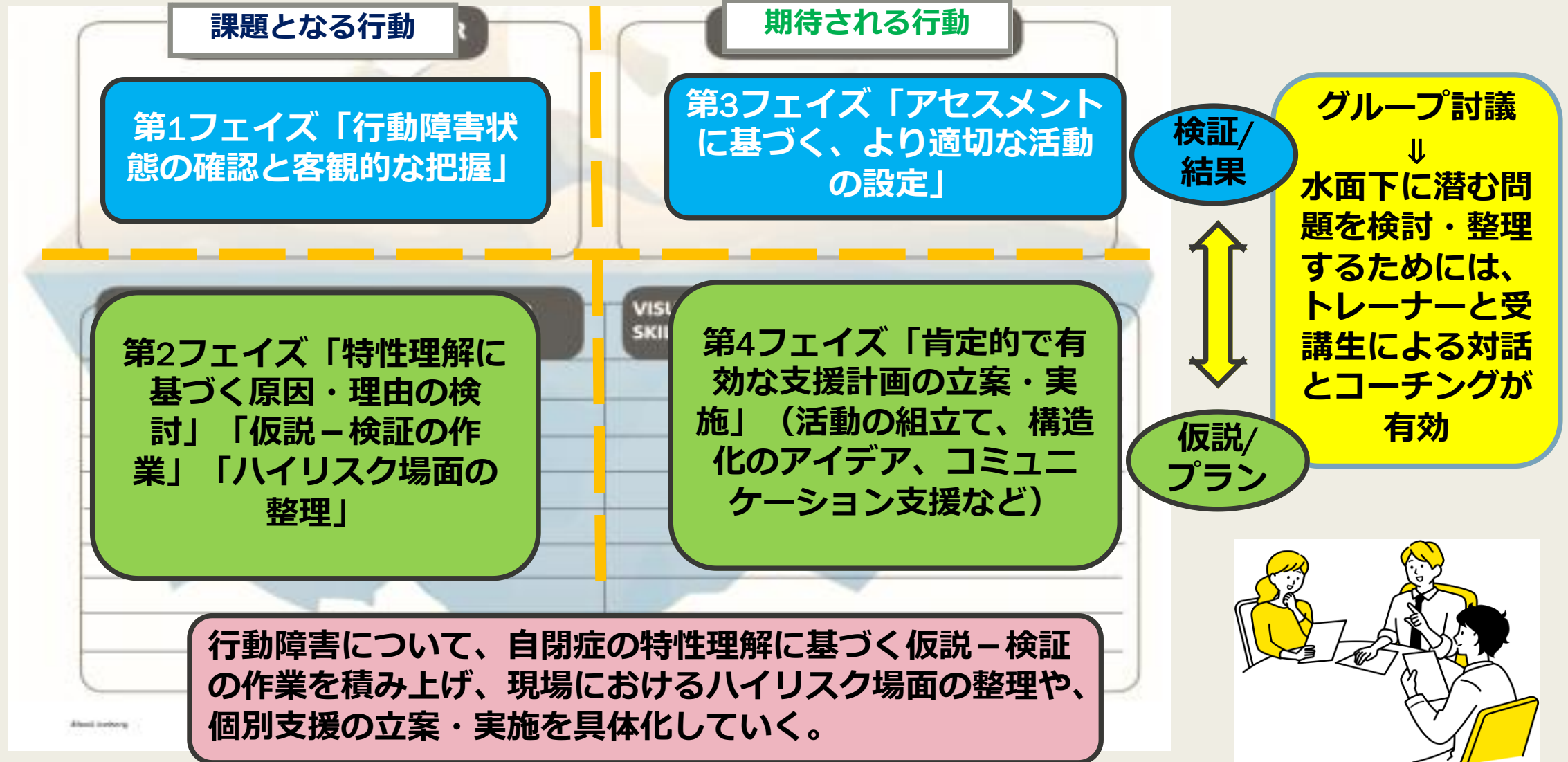
<http://zenjisakyoko.com/>

施設コンサルテーション



2014/11/05

グループ討議の意義



まとめ



自閉症の理解



標準的な支援



現場のアセスメントと
PDCAサイクル



人材の開拓と育成
チームワーク



自閉症支援を生活の
すみずみに

- 自閉症支援の知識・技術・アイデア・資源は、一部の人たちが占有し、クローズドな仲間内で取り扱うものではない
- 自閉症の人たち、家族、支援者にとって意味のあることは、すべてがオープンになり、いつでもアクセスできるようにする
- そのことで、さらなる創造と可能性が生まれる
- 専門家集団のおごりを排し、常に、ユーザー（当事者・家族と支援者）のニーズに応える姿勢を持つ
- 自閉症の人たちが普通に受け入れられる社会を目指して、自閉症 e サービスは活動が続けていく